

あなたと家族の一員であるペットが、  
突然の災害に見舞われるのは明日かも、  
今日かもしれません。

薬、フード、ペットシート、ケージといった  
持ち出し品や、集団の中での心構えなどを、  
一度話し合ってみませんか。



## 災害が起きたら

### まずは、自身の身の安全確保を

何よりも大切なことは、ペットを守る人が無事であることです。飼い主がケガをしたり動けなくなってしまうことがないよう、身の安全を確保しましょう。

### 放さない! 逃がさない!

室内飼いの犬や猫でもパニックになって逃げ出して、行方不明になった事例があります。万一はぐれてしまった時、飼い主がすぐわかるように、ペットには名札やマイクロチップをつけましょう。

犬の場合は、鑑札、注射済票の装着が飼い主に義務付けられています。

### ペットがケガをしないように配慮を

災害時は室内も屋外も、ガラスなどが散乱していることが考えられます。ペットを歩かせて避難させる場合、足に靴を履かせたり、タオルを巻いたりしてケガを防ぎましょう。また、日頃から複数の避難経路を考えておきましょう。

## 日頃から準備はできていますか? (犬のみ) 以外はペット一般です



飼い主の防災備え度		チェック
基本的な責任と義務	1. 登録をしていますか。(犬のみ) <b>重要!</b>	
	2. 狂犬病の予防注射は毎年受けていますか。(犬のみ) <b>重要!</b>	
	3. 首輪に鑑札、注射済票がついていますか。(犬のみ) <b>重要!</b>	
	4. 名札、マイクロチップをつけていますか。	
	5. 防災用具をそろえていますか。	
健康管理	6. 各種の予防接種を受けていますか。	
	7. 健康管理に気をつけていますか。(ノミ、ダニ、フィラリアなど)	
	8. 繁殖を望まない場合、避妊・去勢手術はしていますか。	
	9. 病気の場合、治療を受けていますか。	
しつけの度合い	10. トイレのしつけができていますか。	
	11. ケージやキャリーバッグに慣れていますか。	
	12. 吠えても(鳴いても) すぐにやめさせられますか。	
	13. 飼い主と離れていても大丈夫ですか。	
	14. 他人が触っても暴れませんか。	
	15. 他の動物がいても興奮しませんか。	
ご近所とのコミュニケーション	16. ご近所はあなたが飼っているペットを知っていますか。	
	17. 鳴き声、糞尿などで、近所に迷惑をかけていませんか。	
	18. あなたがいないとき、ペットを助けてくれる人がいますか。	